峯（みね）のたより

私たちのお寺、長泉寺の会報誌。

―復興祈願特集号―

新装刊 007号
2011年12月13日発行

〒981-1505
宮城県角田市角田字長泉寺69番地
電　話　0224（62）1004
ＦＡＸ　0224（63）0063
http://www1.odn.ne.jp/chosenji/

曹洞宗 六国峯 長泉寺

国際環境規格ISO-14001認証取得のお寺

震災で被害に遭われたすべての皆様に心よりお見舞いを申し上げます。お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼のまことを捧げますとともに、被災地に一日も早く復興の日が訪れることをお祈りいたします。

復興への願いを込めて、山門から本堂への参道沿いにハスの鉢を配置しました。（9月18日撮影）

去る3月11日、三陸沖を震源として発生した東北地方太平洋沖地震は、マグニチュード9・0の激震とそれに伴う大津波、さらに原子力発電所の事故などによって、東北から関東まで広域にわたって甚大な被害を及ぼしました。長泉寺の檀信徒で津波の犠牲になられた方もおり、まだ行方不明の方もおります。お悲しみとご苦労を思いますと断腸の思いがいたします。

地震発生から九カ月を経た今も、各地ではまだ多くの方々が避難生活を続けていらっしゃいます。未曽有の災害に直面した私たちが、これから立ち直り、復興へ向けて長い道のりを歩んでいくためには、何をすべきでしょうか。今回の『峯のたより』復興祈願特集では、長泉寺の被害状況をご報告すると共に、復興・防災への取り組みについて私たち一人ひとりができることを考えていきたいと思います。

被災地に救援物資をお送りしました

震災後まもなく、長泉寺から被災地へ向けて布団や日用品などの救援物資をお送りしました。また、角田地域の皆様にはロウソクや井戸水などを提供させていただきました。救援物資送付にあたっては、津波で大きな被害を受けた被災地に一刻も早く確実にお届けできるよう、行政組織や地元ボランティア団体による送付だけではなく寺院のネットワークも活用しました。

復興を願い義捐托鉢を実施しました

被災地の復興を願い、7月5日～7日に災害義捐托鉢を実施しました。角田・丸森地区を巡行し、三日間で20万円を超える義捐金が集まりました。同地区ではご自身が被災された方々も少なくありませんが、津波でより大きな被害に遭われた被災地をできる限り支援したいというお気持ちが強く感じられました。皆様からの義援金は山元町災害対策本部宛に送金し、7月13日付で受領されました。長泉寺では、今後も被災地支援のさまざまな活動を継続していきます。12月22日には歳末助け合い托鉢を実施しますので、ぜひご協力をお願いいたします。

長泉寺より被災地への救援活動

- ◆義捐金…2,800,000円
- ◆組布団…約50組（主に角田へ避難に来られた方々へ）
- ◆生活日用品…4トン車約2台分（山元町および県外へ）
- ◆生活消耗品…段ボール約10箱分（山元町および県外へ）
- ◆ロウソク（地域の皆様および病院等へ）

角田・丸森地区での義捐托鉢

- ◆義捐金　…208,186円（山元町災害対策本部へ）

震災によって長泉寺も被災しました

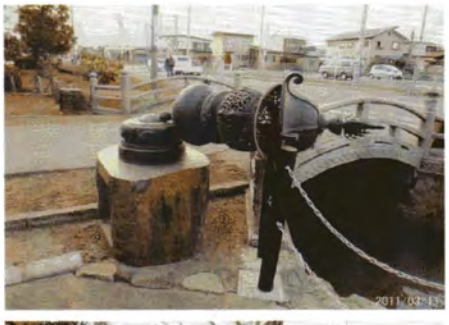
東日本大震災により、長泉寺でも山門や庫裡などを中心にさまざまな被害を受けました。主な被害状況は別表の通りです。震災後、建設委員・常任役員の皆様と共に被害箇所の確認と復興計画の策定を進め、お寺を訪れる方々の安全を最優先に復旧工事を進めてまいりました。

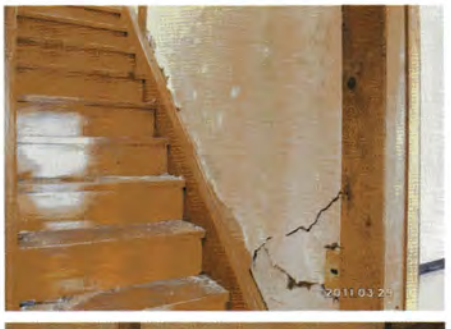
人的被害がなかったこと、また、書院・鐘楼・秋葉堂・経蔵・寺族室・ミネ幼稚園には大きな被害がなかったことは、不幸中の幸いでした。

長泉寺の被害状況

- ◆山門 …… そで漆喰壁一部崩落、うで木（2本）割れる、柱倒れる
- ◆裏門 …… そで漆喰壁一部崩落、瓦・扉落下
- ◆本堂 …… 漆喰壁剥離・落下、梁一部破損
- ◆坐禅堂 …… 瓦落下
- ◆庫裡 …… 漆喰壁大部分剥離・落下、柱倒れる、建具破損
- ◆蔵 …… ナマコ壁破損・落下
- ◆境内墓地…… 墓石倒壊・ずれ（全体の約15%）

建立したばかりの本堂は地震に強く、漆喰壁の一部が崩落しましたが柱梁の被害は一部で済みました。山門は瓦屋根を支えきれず、柱・うで木に大きな被害が出ました。また、裏門・坐禅堂・蔵など多くの箇所で瓦の落下や壁の剥離が見られました。





最も被害の大きかった庫裡では、漆喰壁の大部分が剥落し、柱ごと傾いた箇所もありました。また、境内の各所で墓石や灯籠などが倒壊しており、大変危険な状態でした。人的被害がなく、本当に良かったと思います。

復興への願い　防災への取り組み　私たち一人ひとりができること

今、信仰について見つめ直す時です

このたびの震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、さまざまな被害に遭われた方々の再起を願う時、私たちが第一にすべきなのは心を込めて手を合わせることではないでしょうか。

震災後の復興に向け、私たち一人ひとりができる限りの支援活動を実践していくことは、もちろん大切です。しかし、そうした活動をするためにも、まず私たち自身が悲しみや不安を乗り越え、心安らかに今後の人生に向き合う必要があります。

今こそ、日頃からの信仰について改めて考える時です。暮らしの中に、心静かに合掌する時間を持つことで、未曽有の災害で傷ついた心のケアをしましょう。被災された全ての方々への思いを込め、手を合わせて祈りましょう。

長泉寺としても、前述した托鉢などを行うと同時に、地域におけるお寺の役割を改めて考え、皆様の心のよりどころとなれるよう今後も努めてまいります。

また、お寺では毎週日曜日に定例座禅会を行っており、毎月1日・15日にお経を読む会も行っていますので、こうした場にもぜひ積極的にご参加ください。

日頃から防災意識を高めましょう

東日本大震災による多くの被害を、私たちは教訓として今後に活かさなければなりません。お寺や幼稚園に関することだけでも、注意していただきたい防災ポイントがいくつか考えられます。イザという時に備え、次のようなことを日頃から心がけてください。

仏壇の転倒防止対策をしましょう

タンスや本棚など大型家具と同様に、仏壇にも転倒防止対策をお忘れなく。金具が取り付けられない場合でも、突っ張り棒や耐震ベルトなどの転倒防止器具が各種市販されています。

灯明など火の管理に注意しましょう

灯明にロウソクを使用されている場合やお香を焚く時など、仏事に関しては火を取り扱うことも少なくありません。地震の後で火元の確認をする際には、仏壇の周辺にもご注意ください。

お参りの際は墓石に注意しましょう

境内墓地にお参りされている時に揺れを感じたら、すぐに墓石から離れてください。門や石灯籠などにも決して近寄らず、通路の中央など周囲に倒れる物のない場所へ避難してください。

子どもだけで過ごさないように

小さなお子さんのいるご家庭では、いつも保護者の目が届くように心がけてください。防災のためだけでなく震災後の心のケアとしても、子どもだけで過ごさせないようにしてください。

いつでも幼稚園と連絡可能に

ミネ幼稚園に在園している時間に地震などの非常事態が発生した場合、保護者の方といつでも連絡が取れるようにしてください。通常の電話回線が使用できない場合、ミネ幼稚園では災害伝言ダイヤルで幼稚園の状況をお知らせします。

ミネ幼稚園　災害伝言ダイヤル利用方法

- ◆手順1 …… 「171」の番号へかけて音声案内を聞きます
- ◆手順2 …… 「2」を押して「再生」を選び、音声案内を聞きます
- ◆手順3 …… ミネ幼稚園の電話番号「0224 63 2519」を押します
- ◆手順4 …… 音声案内を聞き、ダイヤル回線の場合はそのまま待ち、プッシュ回線の場合は「1#」を押します
- ◆手順5 …… 幼稚園からのメッセージが再生されます

ミネ幼稚園では避難された方々のお子様をいつでも入園受け入れしています

折しも入園・進級を控えた時期に被災され、お子様を連れて角田に避難されている方々が多数いらっしゃいます。行政機関を通して保育所・幼稚園を探される場合、私立の施設は紹介されないために、入園先が見つからずお困りのケースが多いようです。

ミネ幼稚園では、被災地から避難された方々のお子様をいつでも受け入れ可能ですので、皆様の親族・知人などに幼稚園をお探しの方がいらっしゃいましたら、その旨をお伝えください。また、入園料減免などの支援も行っていますので、お気軽にご相談くださいますよう、併せてお伝えを願います。

いつでも見学OK!
入園料減免あり
満3才の誕生日から入園可能

▲入園案内パンフレットを差し上げます

◆お問合せはこちらまで
TEL:0224-63-2519
E-mail:mineyo@gaea.ocn.ne.jp

◆ホームページもご覧ください
http://www5.ocn.ne.jp/~mine/

ミネ幼稚園は放射線量測定を毎日実施しています

原子力発電所事故による放射線への対策として、ミネ幼稚園では5月から独自に放射線量測定を開始しました。園庭中央部とプールサイドにて地上50センチの位置で毎日測定しています。

また6月には、近畿大学理工学部のご厚意により、園庭の放射線土壌測定を実施しました。その結果、下記のように数値が低く、心配のないレベルでした。

近畿大学による放射線土壌測定結果

I-131（ヨウ素131）…… 検出されず
Cs-134（セシウム134）…… 529Bq/kg
Cs-137（セシウム137）…… 694Bq/kg

▲この濃度から計算される地表1mの空中線量
Cs-134（セシウム134）…… 0.037μSv/hr
Cs-137（セシウム137）…… 0.019μSv/hr
合計 … 0.056μSv/hr　年換算 … 0.49mSv/yr

▲この数値は、ICRP（国際放射線防護委員会）が勧告している一般人に対する制限値（1mSv/yr）を大きく下回っています。

今年の長泉寺キャンドルナイトは慰霊と復興への願いをテーマに

長泉寺のキャンドルナイトは、毎年お盆入りと大晦日の夜に開催している恒例行事であり、例年は環境保全をテーマとしていますが、東日本大震災のあった今年は、震災で亡くなられた方々の慰霊と震災復興をメインテーマとしました。そのため、今年の「お盆のキャンドルナイト」は、震災当日からちょうど5カ月目にあたる8月11日に開催しました。日中は本堂にて慰霊祭を執り行い、ミネ幼稚園の夏祭り会場では震災復興義捐バザーを行いました。

夕方5時、鐘楼の一鐘を合図にキャンドルが点灯されると、境内に「がんばろうみやぎ」「がんばろうふくしま」「がんばろういわて」の文字が浮かび上がりました。これはミネ幼稚園の園児全員の手で描かれた、復興への願いの灯火です。さらに本堂前には、一際大きく「真心」の文字が輝きました。人と人との結びつきや協力について世間ではよく「絆」という言葉が使われますが、本来の言葉の意味を考えると絆よりも真心のほうがふさわしいため、あえて真心としました。慰霊と復興のためには、私たち一人ひとりが心をきれいにして人のために尽くすこと、そしてお釈迦様の慈悲を求めることが大切であり、その両方の意味を持つ言葉が真心なのです。境内に灯るすべてのキャンドルがお釈迦様の命を受け、一つひとつが役割を持ち、忠実に役目を果たそうとしているような、強さと美しさを感じる光景でした。

例年にも増して幅広い層の方々にご来場いただき、消灯時間が迫っても来場者・奉仕者ともにその場を離れがたい雰囲気に包まれながらの閉会となりました。短い時間ではありましたが、亡くなられた方々のご冥福と被災地の一日も早い復興をお祈りする特別なキャンドルナイトとなりました。

大晦日の夜にも「除夜の鐘キャンドルナイト」を行いますので、どうぞご参加ください。

長泉寺・ミネ幼稚園の環境保全活動

環境保全活動は、曹洞宗が掲げる三大テーマのひとつです。

「低炭素杯2011」に宮城県代表で出場

地球温暖化防止に関する地域活動を実践している全国各地の学校・NPO・企業・自治体など、37都道府県から47の代表が東京大学安田講堂に集合する「低炭素杯2011」。この大会に長泉寺とミネ幼稚園が宮城県代表として出場し、日頃の環境活動を発表させていただきました。

大会名称：ストップ温暖化大賞低炭素杯2011
期日：平成23年2月5・6日
会場：東京大学安田講堂・山上会館
実行委員長：小宮山 宏（第28代東京大学総長）

ボトルキャップ回収運動

長泉寺のボトルキャップ回収運動は平成22年5月より開始しました。皆様から提供していただいたボトルキャップは、ボランティア団体「グループMATE」を通じてNPO法人「世界の子供にワクチンを 日本委員会」（JCV）に寄付し、開発途上国の子供たちへのワクチンになっています。

1年間の回収量	：	333 kg
1年間の回収個数	：	133,179個
ワクチン投与人員数	：	166名分

夏の節電・節水運動

震災での原子力発電所事故により、今年の夏は深刻な電力不足となったため、全国的に節電運動が展開されました。長泉寺では以前から夏の節電運動に取り組んでおり、節水運動も実施してきました。

◆夏の節電運動の成果

期間	使用電力量	削減量	削減率
H22.7.7～9.6	7,154 kwh	1,320 kwh	18.5%
H23.7.7～9.6	5,834 kwh		

◆夏の節水運動の成果

期間	使用水道量	削減量	削減率
H22.7.13～9.13	268 m³	107 m³	39.9%
H23.7.13～9.13	161 m³		

◆連載エッセイ
方丈さんの心に浮かぶこんなこと

長泉寺住職　奥野　成賢

「意地」という言葉について

花咲爺さんや舌切雀など、日本の昔話には「意地悪爺さん」や「意地悪婆さん」が登場します。けれども「意地善爺さん」とか「意地良婆さん」という語は聞いたことがありません。意地が悪い、意地を張る、意地を通す、意地が汚い、意地にかかる、意地になる等々、どうも「意地」という言葉にはマイナスのイメージが漂っているように思います。

「山路を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい」とは、夏目漱石の小説『草枕』の冒頭ですが、ここで漱石は「意地」を「自分の思いを通そうとする意志の凝り固まった心」の意味で表現し、自分本位の強情を貫き通すと、かえって心身の自由が束縛され、思うままにできなくなると述べています。

仏教では意地の「意」は六識、六根における意識、意根であって、認識し思考する心を指し、個人存在の中心であるから「地」であると説いています。わかりやすく言うと「個人の存在の全体を支配する心」とでもなるでしょうか。ともあれ、私たちが日常的に使う意地の意味とは、若干ニュアンスが異なります。

ところで、先ほどの『草枕』の文章で漱石は「自分本位の強情を貫き通すと窮屈になる」と述べていますが、読者の皆さんは「アレッ？」と思いませんか。最近の世の中は何でもしたい放題、言いたい放題です。自分本位で自己中心的な人が増えてきました。おそらくそのような人々は、意地が通らない時にこそ「世の中は窮屈だ」と騒ぐのでしょうね。

「世に住むこと二十年にして、住むに甲斐ある世と知った。二十五年にして明暗は表裏のごとく、日のあたる所にはきっと影がさすと悟った。三十の今日はこう思うている。――喜びの深きとき憂いよいよ深く、楽しみの大いなるほど苦しみも大きい」（同書）と書いた漱石先生も、現代人を観ては苦笑いするに違いありません。

六識 器官の作用	六境 器官の対象	六根 人間の器官	
眼識	色	眼	五感
耳識	声	耳	
鼻識	香	鼻	
舌識	味	舌	
身識	触	身	
意識	法	意	心の働き

仏教の「意地」

被災地中学校卒業式での生徒による答辞に感銘を受けました

震災が起こった三月は、あたかも卒業の季節でした。被災地ではまだライフラインの復旧もままならず、多くの方々が悲しみと不安の中で過ごされていましたが、児童生徒たちにとって人生の大切な節目である卒業式を挙行してあげたいという保護者や先生方、地域の方々の尽力により、各地で卒業式が行われました。

津波で甚大な被害を受けた気仙沼市の中学校でも卒業式が行われ、テレビや新聞で報道されたのですが、その卒業生代表による答辞は全国に大きな感動を与えました。震災で傷付いた私たちに困難を乗り越えていくための勇気を与えてくれる、真摯で力強いメッセージでした。ここにその全文を掲載しますので、ぜひご一読ください。

気仙沼市立階上（はしかみ）中学校卒業生代表・梶原裕太君の答辞

本日は未曽有の大震災の傷も癒えないさなか、私たちのために卒業式を挙行していただき、ありがとうございます。

ちょうど十日前の三月十二日。春を思わせる暖かな日でした。

私たちは、そのキラキラ光る日差しの中を、希望に胸を膨らませ、通い慣れたこの学舎を、五十七名揃って巣立つはずでした。

前日の十一日。一足早く渡された思い出のたくさん詰まったアルバムを開き、十数時間後の卒業式に思いを馳せた友もいたことでしょう。「東日本大震災」と名付けられる天変地異が起こるとも知らずに…。

階上中学校といえば「防災教育」といわれ、内外から高く評価され、十分な訓練もしていた私たちでした。しかし、自然の猛威の前には、人間の力はあまりにも無力で、私たちから大切なものを容赦なく奪っていきました。天が与えた試練というには、むごすぎるものでした。つらくて、悔しくてたまりません。

時計の針は十四時四十六分を指したままです。でも時は確実に流れています。生かされた者として、顔を上げ、常に思いやりの心を持ち、強く、正しく、たくましく生きていかなければなりません。

命の重さを知るには大きすぎる代償でした。しかし、苦境にあっても、天を恨まず、運命に耐え、助け合って生きていくことが、これからの私たちの使命です。

私たちは今、それぞれの新しい人生の一歩を踏み出します。どこにいても、何をしていようとも、この地で、仲間と共有した時を忘れず、宝物として生きていきます。

後輩の皆さん、階上中学校で過ごす「あたりまえ」に思える日々や友達が、いかに貴重なものかを考え、いとおしんで過ごしてください。先生方、親身のご指導、ありがとうございました。先生方が、いかに私たちを思ってくださっていたか、今になってよく分かります。地域の皆さん、これまで様々なご支援をいただき、ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

お父さん、お母さん、家族の皆さん、これから私たちが歩んでいく姿を見守っていてください。必ず、よき社会人になります。

私は、この階上中学校の生徒でいられたことを誇りに思います。

最後に、本当に、本当に、ありがとうございました。

平成二十三年三月二十二日
第六十四回卒業生代表
梶原　裕太

この答辞は、震災後に刊行された『平成二十二年度　文部科学白書』（文部科学省編）の冒頭章「東日本大震災への対応」に掲載されています。インターネットに接続できる方は左記のアドレスから無料でダウンロードできますので、一人でも多くの方々にご紹介してください。

◆文部科学省・白書一覧ページ
http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/hakusho.htm

皆様に御礼申し上げます。

檀信徒の皆様をはじめ長泉寺にご縁のある方々から、たくさんの喜捨を賜りました。平成二十三年一月から十月までの芳名帳より、項目ごとに五十音順で掲載いたします。

供養料

相原 伊寿 様
赤川 良行 様
吾妻 武博 様
秋葉 すみ子 様
秋山 源之輔 様
秋山 和三郎 様
浅川 俊幸 様
浅野 うめ 様
浅見 正男 様
安達 けい 様
阿部 金造 様
阿部 平 様
荒木 喜代子 様
安藤 祐介 様
猪狩 正功 様
石井 芳巳 様
石井 良光 様
石川 勝俊 様
泉 和夫 様
泉 敏之 様
泉 久雄 様
一條 勲 様
一條 憲一 様
一條 研介 様
一條 のり子 様
一條 みつ子 様
市場 邦夫 様
市場 みつ子 様
市場 幸男 様
伊藤 愛子 様
井上 孝一 様
井上 さた子 様
井上 宏義 様
猪股 文芳 様
今出 辰一 様
岩崎 敬二 様
岩崎 卓子 様
上野 則子 様
上原 年喜 様
氏家 フク 様
牛澤 友志 様
遠藤 孝 様
遠藤 成夫 様
円龍寺 様
及川 アヤ子 様
大石 雄一 様
大泉 正敏 様
大泉 力夫 様
大川口 六男 様
大川口 諒一 様
太田 和子 様
太田 勇一 様
太田 行男 様
大槻 哲雄 様
大槻 正明 様
大槻 正人 様
大槻 光生 様
大槻 康之 様
大寺 輝男 様
大寺 正和 様
大沼 尚 様
大野 キヨ 様
大野 達男 様
岡田 重松 様
岡田 静一 様
小形 時雄 様
小形 福男 様
小鴨 弘治 様
小川 ひろし 様
奥野 光賢 様
尾崎 光子 様
長田 三男 様
尾澤 寿美子 様
小澤 実 様
小田川 かつ子 様
小野石材 様
小野 照子 様
小野 俊実 様
小野 文弘 様
小野 正明 様
小野 実 様
小野 陽子 様
小野寺 喜一 様
小野寺 はな子 様
小平 弘一 様
小丸 淳 様
小山 昌宏 様
加川 稔 様
柿崎 キン 様
笠松 道子 様
梶村 利江 様
梶村 秀生 様
加藤会館 様
加藤 亀市 様
金上 繁 様
金澤 みつ子 様
金野 康宏 様
かねこ 様
金子 クニ 様
金子 六男 様
鎌田 稔 様
鎌田家 様
川嶋 明 様
菊地 勝子 様
菊地 康平 様
菊地 信一 様
菊地 照子 様
菊池 芳夫 様
岸浪 八重子 様
木田 タケヨ 様
喜松院 様
木村 貞信 様
木村 輝男 様
金昌寺 様
日下 政二 様
日下 喜重 様
草間 純一 様
草間 進 様
久保内 けさよ 様
窪田 栄紀 様
窪田 容子 様
黒田 栄 様
渓水寺 様
小池 力行 様
広渕寺 様
高林寺 様
小澤 実 様
後藤 矩子 様
後藤 美智子 様
小桧山 俊昭 様
小松 良子 様
今内 義光 様
斎 きみ子 様
斎 徹 様
斎 正光 様
西園寺 様
斎藤 いさ子 様
斎藤 賢一 様
斎藤 重信 様
斎藤 隆雄 様
斎藤 正彦 様
斎藤 みいこ 様
坂田 賢二 様
坂元 哲郎 様
咲間 みつ江 様
佐久間 孝雄 様
佐久間 幸男 様
佐々木 幸子 様
佐々木 繁保 様
佐々木 茂 様
笹木 マサ子 様
笹森 匡 様
笹森 進 様
佐藤 彰 様
佐藤 栄子 様
佐藤 英二 様
佐藤 和一郎 様
佐藤 かつ子 様
佐藤 君子 様
佐藤 邦夫 様
佐藤 ケイ子 様
佐藤 敬司 様
佐藤 健夫 様
佐藤 ツネ 様
佐藤 徳男 様
佐藤 淑 様
佐藤 敏男 様
佐藤 とも子 様
佐藤 信雄 様
佐藤 信行 様
佐藤 紀清 様
佐藤 はるえ 様
佐藤 宏敏 様
佐藤 政井 様
佐藤 勝 様
佐藤 やよひ 様
佐藤 嘉子 様
澤井 幸一 様
塩田 徳夫 様
志賀 四郎 様
自照院 様
柴崎 宗男 様
島津 光照 様
注連内 隆一 様
常因寺 様
松源寺 様
庄司 幸雄 様
城満寺 様
白澤 キヨ 様
瑞雲寺 様
杉山 恵子 様
鈴木 欽次郎 様
鈴木 三郎 様
鈴木 俊輔 様
鈴木 忠幸 様
鈴木 宣男 様
鈴木 正敏 様
須田 正志 様
須藤 敏子 様
清野 紀光 様
瀬戸 昭一郎 様
仙石 孝子 様
宗光寺 様
宗禅寺 様
高砂旅館 様
高瀬 悦子 様
高田 由美子 様
高橋 明美 様
高橋 英一 様
高橋 享一 様
高橋 くに子 様
高橋 たきの 様
高橋 たけの 様
高橋 勝 様
高橋 規義 様
高松 光子 様
滝口 良弘 様
滝口 良子 様
谷本 夏樹 様
玉手 一彦 様
玉手 武男 様
長泉寺(大内) 様
柄目 喜一 様
柄目 ケイ子 様
柄目 孝治 様
津田 正志 様
洞昌寺 様
東禅寺 様
洞林寺 様
徳寿院 様
徳蔵寺 様
豊岡 浩一 様
永井 茂美 様
中野 拓 様
中野 栄夫 様
中野 正勝 様
中畑 博幸 様
中原 愛子 様
中村 邦夫 様
中山 義光 様
成田 茂 様
成田 正雄 様
成田 満子 様
成田 宗郎 様
南部 信一 様
南部 正治 様
新妻 美沙子 様
二階堂 元 様
二階堂 仁記 様
二瓶 信子 様
沼崎 栄子 様
根本 武士 様
野口 紀久子 様
野口 紀昭 様
芳賀 りつ 様
長谷川 文男 様
馬場 富二 様
馬場 廣治 様
原田 勝男 様
繁昌院 様
引地 武夫 様
日野 幸一 様
広西 英紀 様
藤根 いく子 様
藤野 秀 様
藤野 浩 様
伏見 充子 様
保志 可也 様
星 謙治 様
本郷 茂 様
本多 正久 様
曲木 恵子 様
曲木 光一 様
曲木 秀利 様
曲木 光子 様
増子 愛子 様
町田 忠克 様
松浦 吉市 様
松川 さつき 様
松崎 ときわ 様
松本 勇夫 様
松本 隆 様
丸森石材 様
丸谷石材 様
三浦 敏 様
水野 文子 様
ミネ幼稚園一同 様
武者 淑子 様
名川寺 様
目黒 昭子 様
目黒 京子 様
目黒 サノ子 様
目黒 清吉 様
目黒 悌子 様
毛利 友一 様
最上 六千男 様
物江 亮 様
森 登茂子 様
森 浩 様
盛田 正敏 様
盛田 正治 様
森山 旭 様
森山 勲 様
森山 良子 様
八木沼 隆彦 様
八木沼 昌弘 様
八島 晴夫 様
谷津 貞 様
谷津 哲夫 様
谷津 行雄 様
矢吹 幸子 様
山越 千代子 様
山下 道也 様
山田 正夫 様
山田 マサ子 様
山田 光雄 様
山田 保治 様
山中 君江 様
山本 正秀 様
湯村 成子 様
湯村 喜郎 様
横山 好見 様
横山 りん 様
吉沢 けさこ 様
吉田 克哉 様
吉田 信代 様
吉田 美恵子 様
吉野 昭一 様
米竹 マサヨ 様
米山 敏夫 様
若木 良郎 様
和田 淑子 様
渡邊 孝一 様
渡辺 正一 様
渡部 泉子 様
渡辺 恒雄 様
渡邊 哲郎 様
渡邊 徳郎 様
渡辺 尚信 様
渡邊 久子 様

物品等

会田 元男 様
相原 実 様
青柳 千秋 様
吾妻 武博 様
敏男 様
秋葉 すみ子 様
秋山 源之輔 様
秋山 和三郎 様
浅川 正純 様
浅野 うめ 様
足立 きぬえ 様
安達 宗男 様
我孫子 保長 様
阿部 清彦 様
阿部 昭八 様
阿部 弘美 様
荒川 孝一 様
荒川 米 様
安昌寺 様
安藤法衣店 様
鵜工舎 様
石井 芳巳 様
泉 敏之 様
一條 憲一 様
一條 のり子 様
一條 みつ子 様
市場 眞吉 様
伊東 あい 様
伊藤組造園 様
伊藤建具店 様
井上 雄二 様
岩井塗装 様
岩間 弘 様
岩間 芳 様
碓氷 弘司 様
遠藤 洋平 様
円龍寺 様
及川 アヤ子 様
及川 茂 様
大石 雄一 様
大久保 利雄 様
太田 定 様
太田 重義 様
太田 久男 様
太田 正弘 様
太田 義夫 様
大津 まき子 様
大槻 章 様
大槻 潔 様
大槻 哲雄 様
大槻 正人 様
大槻 令治 様
おおとも生花 様

※物品等……野菜、果物、米、海産物、酒類、茶、ジュース、菓子、生花、商品券、生活用具など
※その他……お地蔵さんの着物、仏具敷、清掃具など手作りの物

大友 浩一 様
大沼 たま子 様
大沼 尚 様
大野 達男 様
岡田 重松 様
岡田石材 様
奥野 光賢 様
長田 三男 様
小嶋源五郎本店 様
小田川 かつ子 様
小野建設 様
小野石材 様
小野茶舗 様
小野 実 様
小野 文弘 様
小野 律子 様
小野寺 喜一 様
小野寺 茂隆 様
角田市ガスセンター 様
笠松 道子 様
加藤会館 様
加藤 猛雄 様
加藤 実 様
加藤 洋子 様
金澤 信道 様
金野 康宏 様
金子 六男 様
金田 隆 様
金田 光雄 様
鎌田 稔 様
神長 敏郎 様
川崎 秀一郎 様
川嶋 明 様
歓喜院 様
関泉寺 様
菅野 健 様
菅野 了子 様
菊地 功 様
菊地 康平 様
菊池 信一 様
菊地 照子 様
菊池 俊彦 様
北沼 一男 様
木下 孝 様
喜松院 様
金昌寺 様
日下 八重子 様

草間 純一 様
窪田 栄紀 様
窪田電気 様
熊谷 彦次 様
栗原 誠一 様
渓秀院 様
渓水寺 様
玄光庵 様
小池 力行 様
広渕寺 様
郷家 賢吉 様
郷家 貞男 様
高林寺 様
小関 和輝 様
小林 しづえ 様
今内 義光 様
今野設計事務所 様
西園寺 様
斎藤 いさ子 様
斎藤 重信 様
斎藤 達雄 様
斎藤 徳衛 様
斎藤 均 様
斎藤 みいこ 様
斎藤 幸男 様
佐久間 幸男 様
佐久間 豊 様
佐々木 正好 様
佐々木 義男 様
笹森 匡 様
佐竹 貞雄 様
佐藤 彰 様
佐藤 一馬 様
佐藤 かつ子 様
佐藤 栖鳳 様
佐藤 忠義 様
佐藤 信雄 様
佐藤 信行 様
佐藤 紀清 様
佐藤 正友 様
佐藤 みつ江 様
佐藤 実 様
佐藤木材 様
佐藤 義衛 様
三文字石材 様
JA葬祭センター 様
宍戸 一吉 様
宍戸 龍芳 様

自照院 様
ジャクエツ 様
常因寺 様
松源寺 様
庄司 幸雄 様
城満寺 様
白澤 キヨ 様
津龍院 様
瑞雲寺 様
瑞応寺 様
鈴木 京子 様
鈴木 欽次郎 様
鈴木 俊輔 様
鈴木 寿美子 様
鈴木 俊明 様
鈴木 良子 様
鈴木 好紀 様
鈴木 隆三 様
関 謙一 様
仙光院 様
仙石 一馬 様
仙台ノイエタンツ 様
仙台放送OX エンタープライズ 様
宗禅寺 様
總寧寺 様
高砂旅館 様
高瀬 悦子 様
高梨仏具店 様
高橋 勝男 様
高橋 静枝 様
高橋生花店 様
高橋 勗 様
高橋 規義 様
高橋 賢宣 様
田口 静子 様
館林 明憲 様
谷口 聖子 様
谷口法衣店 様
玉手 喜隆 様
丹野(画伯) 様
長泉寺(大内) 様
長徳寺 様
柄目 孝治 様
蔦屋漆器店 様
手戸 克博 様
洞雲寺 様
洞昌寺 様

東禅寺 様
洞林寺 様
徳蔵寺 様
百々 文男 様
登米 昭 様
中川 敏男 様
中地 清 様
中野 栄夫 様
中畑 博幸 様
中原 愛子 様
中原石材 様
永山 郁雄 様
椰橋 醇一 様
成川 正 様
成田 満子 様
成田 宗郎 様
新妻 美沙子 様
西牧 昭雄 様
如来寺 様
沼崎 栄子 様
根元 清繁 様
根元泰蔵商店 様
根本 武士 様
野川 亘 様
芳賀畳店 様
萩生田青果 様
葉坂 恒夫 様
橋本 義明 様
花の膳 様
馬場 晴作 様
馬場 富二 様
林出左官 様
半沢 一良 様
繁昌院 様
般若堂 様
半谷 浩司 様
曳地 ヤエ子 様
日野 幸一 様
広西 光一 様
藤野 秀 様
藤野 浩 様
伏見 充子 様
仏教文化 様
佛心堂 様
北振社寺工業 様
ほこだて仏光堂 様
保志 可也 様
星 富雄 様

細川 志め 様
細野法衣店 様
本田 市夫 様
本多 正久 様
本間 昭雄 様
前嶋 敬子 様
曲木 恵子 様
曲木 茂 様
牧野 泰太 様
増子 愛子 様
増子 薫 様
松浦 吉市 様
松岡 茂 様
松川 さつき 様
松崎 ときわ 様
松崎 安典 様
松本 芳子 様
丸谷石材 様
満興寺 様
水野 二三夫 様
水野 文子 様
水野 正幸 様
満石 高明 様
緑川 三千男 様
みぶな 様
弥勒寺 様
武者 淑子 様
村岡 眞實 様
名川寺 様
目黒 京子 様
最上 六千男 様
森 俊夫 様
森 敏雄 様
森 宗男 様
盛田 正敏 様
谷津 哲夫 様
谷津 睦夫 様
矢吹 三枝子 様
八巻 一郎 様
山口 尊生 様
山口 百合子 様
山口 善久 様
山越 千代子 様
山崎 義孝 様
山下 道也 様
山田石販 様
山田 久 様
山田 正夫 様

遊膳 様
横山 ケサヨ 様
横山 好見 様
横山 りん 様
吉沢 けさこ 様
吉野 昭一 様
吉野 司 様
龍雲寺 様
龍門寺 様
我妻 よね 様
和田 幸次郎 様
渡辺 喬子 様
渡辺 順蔵 様
渡辺 恒雄 様
渡辺 てる子 様
渡辺 文彦 様
渡辺 政志 様
渡辺 了 様

その他

岩間 弘 様
乙葉 みよし 様
佐藤 はな子 様
渡辺 みや子 様

権大教師の補任祝として

金一封

浅野 広 様
喜松院 様
金昌寺 様
獄山会宮城支部 様
秀麓斎 様

震災被害の見舞として

金百万円

鈴木 俊輔 様 (盛岡市)
安達 けい 様 (佐倉)

金五十万円

鎌田 稔 様 (西仲町)

金一封・食料品等

五十沢 守 様
板橋 真由美 様
井筒屋 様
伊東 あい 様
伊藤組造園 様
井上 典枝 様
牛沢 光男 様
大石 武 様
太田 定 様
大津 まき子 様
大規 博文 様
大規 令治 様
大沼 尚 様
大野 徹史 様
奥野 光賢 様

小野 実 様
梶村 利江 様
角張 正彦 様
金上 繁 様
菊地 康平 様
菊池 信一 様
菊地 憲夫 様
窪田 栄紀 様
広渕寺 様
極楽寺 様
後藤 達 様
今内 義光 様
佐竹 貞雄 様
佐藤 一馬 様
佐藤 謙太郎 様
佐藤 昭治 様
佐藤 敏夫 様
佐藤 正則 様
佐藤 雅義 様
佐藤木材 様
三文字 正彦 様
宍戸 一吉 様
宍戸 龍芳 様
柴崎 守 様
庄司 彰 様
庄司 重治 様
庄司 元男 様
城満寺 様
瑞応寺 様
鈴木 勇男 様
鈴木 欽次郎 様
大本山總持寺 様
大乗寺 様
高瀬 悦子 様
高梨仏具店 様
高橋 明美 様
武田 文由 様
長泉寺(岡山県) 様
蔦屋漆器店 様
百々 文男 様
中畑 澄子 様
中村 邦夫 様
西牧 良悦 様
花の膳 様
伏見 充子 様
曲木 茂 様
幕田 賢一 様
増子 あい子 様

松井 栄夫 様
松崎 安典 様
的川 泰宣 様
水野 文子 様
満石 高明 様
八巻 幸三 様
山口 尊生 様
山下 道也 様
山田 弘美 様
湯村 昌平 様
横山 好見 様
吉村 瑞子 様
吉松 聖博 様
吉野 正則 様
米山 敏夫 様
良珊寺 様
渡辺 陞二 様

※印刷用パソコン書体の都合により高橋姓の「はしご高」を「高」と表記させていただきました。
また「七」が三つの「き」は「喜」と表記させていただきました。どうかご容赦願ください。

ここに掲載させていただいた皆様だけでなく、匿名で喜捨をされた方々もいらっしゃいました。また、お一人で何度も喜捨をされた方もたくさんおられますが、同項目内で重複する御芳名は割愛させていただきました。すべての皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

★★★ お知らせ ★★★

どうぞお気軽にご参加ください！

◆定例坐禅会

長泉寺は、曹洞宗認可参禅道場です。坐禅とは、こころ静かに坐るだけで、何も難しいことはありません。毎週日曜日の夕方5時より、約1時間程度坐ります。坐禅後には法話、茶話会も行っています。（会費無料）

◆お経を読む会

毎月1日と15日、朝6時より行っています。経本等のテキストを無料で差し上げますので、特別な準備は必要ありません。（会費無料）

ご家庭でも朝夕の勤行ができます

◆『檀信徒の聖典』実践CD

毎日の暮らしの中でも朝夕のおつとめができるよう、お経のCDをつくりました。CDを聴きながら読経するので、どなたにも実践しやすく、長泉寺住職による読経指導も収録していますので、お経の順番や意味についてもよくわかります。朝夕のおつとめは功徳になります。お経を読む会だけでなく、ご家庭でもぜひ実践してください。CDをご希望の方はお寺にご連絡ください。

長泉寺「檀信徒の聖典」と共にぜひご家庭でお役立てください。

不要な本をお寺にお持ちください

角田の歴史や文化を、より多くの方々に伝えていくために、長泉寺では将来的に私設図書館のような場を設けたいと考えています。そこで、不要になった本を寄贈していただけますよう、皆様にお願いいたします。一般書・児童書などのほか、専門書や郷土資料、全集など、書店で入手しづらい本は特に歓迎します。直接お寺へお持ちいただくか、または（数量が多い場合などは）事前にご相談ください。

塔婆をお求めの方へ

供養申込の方のご要望もあり、塔婆を1本1000円でご用意しました。ご希望の方はお求めください。

「招福大般若祈祷」のご案内

招福大般若祈祷とは、本年の垢を落とし、清々しい心で新年をお迎えするための祈祷です。ご祈祷の後には法話も行う予定です。お正月を迎える歳徳神さまのお札を差し上げます。祈祷料等はかかりません。無料でどなたでも参加していただけます。

新しいご本尊、震災供養位牌、献灯台、焼香机を安置しました

本堂に新しいご本尊を安置しましたので写真を掲載します。仏師・佐藤栖鳳先生作の釈迦如来、文殊菩薩、普賢菩薩の三尊像です。内陣には震災供養のお位牌も安置しました。また、焼香机（施主・菅野幸夫様）と屋根付献灯台（施主・松崎安典様）も安置しましたのでご紹介します。

衣には截金（きりかね）文様が施されています

三尊像（釈迦如来、文殊菩薩、普賢菩薩）

屋根付献灯台

焼香机

曹洞宗Q&A

曹洞宗や仏教について「今さら聞けない」基礎知識や「知って楽しい」豆知識を紹介するコーナーです。

【Q】 被災地で「行茶傾聴ボランティア」が行われていると聞きました。それはどのような活動ですか？

【A】 曹洞宗では被災地への対応として義捐金や物資・施設の提供はもちろんのこと、慰霊法要など宗教活動によるさまざまな支援を行っており、その一環として実施しているのが「行茶傾聴ボランティア」です。

「行茶」とはお茶をふるまって共に飲むことであり、「行粥」や「行鉢」と同じく禅僧にとって日々の大切な修業です。また、「傾聴」とは相手の思いを受けとめて聴くことであり、人の心をケアする大切な行為です。つまり行茶傾聴ボランティアとは、一緒にお茶を飲みながら話に耳を傾け、被災された方々がご自身の気持ちを整理し、心をケアするためのお手伝いをすることなのです。

曹洞宗は今後も宗門を挙げて被災地へのさまざまな支援活動に取り組んでまいります。

このコーナーでは皆様からのご質問をお待ちしています。どんなことでもお気軽にお訊ねください。

長泉寺　年末年始の行事予定

12/11（日）	午後２時～	巳正月供養
12/22（木）	午前10時～	歳末助け合い托鉢
12/27（火）	午前10時～	除災招福大般若祈祷会
12/31（土）	午後11時～	除夜の鐘
		越年キャンドルナイト
1/３（火）	午前10時～	新年大般若祈祷会

※12/31～1/3は葬儀を出しません。他の仏事は行います。